

# 中高一貫だより

<編集・発行>  
えりも地区連携型  
中高一貫教育  
推進委員会事務局

## 「環境教育 百人浜に学ぶ」 ～中学校での取組～



えりも中学校では、6月20日に百人浜講演会、6月28日に植樹体験を1年生が行いました。この体験事業に向けて、校内に百人浜の植樹事業に関わる展示も公開されました。

講演会では、緑化する前のえりも岬の荒廃状況、緑化事業を実施した経緯、当時の過酷な生活状況、緑化の礎となった雑海藻を用いた「えりも式緑化工法」の概要、現在実施している事業等について説明していただきました。ま

た、えりも国有林では緑化当初、木本緑化として様々な樹種を試験し、その結果クロマツが最も適している樹種であることがわかりました。そのため多くのクロマツが植えられ、全体の約7割もの面積を占めておりますが、病虫害が発生すると一斉に枯れる危険があるため、ある程度大きくなった箇所から本数調整伐を実施し、そこに広葉樹を植えている、とも教えていただきました。当時のえりもに住む人たち



の努力と工夫の末に効果的な環境活動につながったことで、今日のえりもの山や海が在ることを学びました。

植樹体験では、はじめに中学校の体育館で北海道森林管理署、えりも町役場、ひだか南森林組合ご協力のもと、カミネッコンと呼ばれる鉢植えの作成をしました。生徒たちは楽しくスムーズに作業を進め、一人二つ以上のカミネッコンを作成し、現地へ向かいました。今回は、ミズナラ・ヤチダモ・カツラ・シラカバ・ドロノキの5

種類、約100本を植樹しました。順番にカミネッコンへ土とともに木を入れ、植えていきました。生徒にとって慣れない環境でしたが、精力的に活動し、楽しく活動していました。最後に全員で写真を撮り、記念品をいただきました。



## 「環境教育 百人浜に学ぶ」フィールド学習B～高校での取組～

9月13日(水)、中高一貫教育カリキュラムの一つである「百人浜フィールド学習B」を行いました。この事業は、国が1953(昭和28)年から行っている百人浜治山緑化事業を、2006(平成18)年から中高一貫の郷土学習・環境教育に取り入れ実施しているものです。6月に中学生が植樹、9月に高校生が枝打ちすることで、さらなる緑化と先人が守ってきた森林の保全に取り組んでいます。



はじめに、えりも高校体育館にて日高振興局森林室の方々から日高の森林や林業についての説明を受け理解を深めました。林業は長い年月をかけて行う大きなプロジェクトであること、

今の日高地区の森林は先人たちの緑化活動のもとにあることなどを学びました。終了後、現地へ移動し、中学校1年生の時に植樹した木々の成長を確かめました。自分が植樹した木には、そのことがわかるようにプレートがついています。自分の名前を見つけたときには、歓喜の声が上がりました。

その後、枝打ち箇所へ移動して、枝打ち作業を約1時間実施しました。通気を良くし、土壌に光を当てて、木がより丈夫に成長できるようにと真剣に枝落としを行う姿が見られました。

最後に、日高南部森林管理署より生徒全員に記念品をいただきました。今年度も百人浜フィールド学習を通して、先人たちから続くえりもの治山事業に、地元の高校生が関わることができました。

### 一日体験入学

8月28日(月)、えりも高校にて、一日体験入学を行いました。えりも中学校3年生と保護者の方に参加していただき、えりも高校での学びや進路についての説明、生徒会役員によるえりも高校の紹介、高校教員による体験授業を行いました。



### 進路別ガイダンス

10月13日(金)、えりも中学3年生と高校1、2年生を対象に、進路別ガイダンスを行いました。今年度は株式会社ライセンスアカデミーに依頼して進学・就職合わせて32講座開講し、生徒はそれぞれの興味関心に合わせて受講しました。



### 中学生面談

11月10日(金)、えりも中学校3年生をえりも高校に招き、中学生面談を行いました。面接前は緊張した面持ちでしたが、質問に対してははっきりと答えることができていました。

来年の4月、皆さんとえりも高校で会えるのを心待ちにしています!

